

狂犬病にご注意ください！

フィリピンより帰国した男性2名が、現地で犬に咬まれて**狂犬病ウイルス**に感染し、国内で発症・死亡したことが確認されました。

○狂犬病とは？

一部の地域を除いて世界中で発生している人獣共通感染症で、アジア・アフリカ地域を中心に年間約5万人が死亡しています。

症状は、1～3ヶ月程度の潜伏期間の後、発熱、頭痛、全身倦怠、嘔吐などの不定症状で始まり、咬まれた部位に異常感覚が生じます。

次いで、わずかな刺激でも筋肉が痙攣し、嚥下困難などが起きます。

昏睡、呼吸麻痺と進行して、最終的には脳細胞が侵され、死亡します。

いったん発病したら治療はなく、100%死亡します。

我が国における発生状況

西暦年	死亡者数	犬の発生数
1953年	3人	176頭
1954年	1人	98頭
1955年	0人	23頭
1956年	0人	6頭
1957年～	発生なし(※)	発生なし

(※)1970年に狂犬病発生地(ネパール)を旅行中に犬に咬まれ帰国後に発病、死亡した輸入症例が1例あり

○犬の狂犬病予防注射について

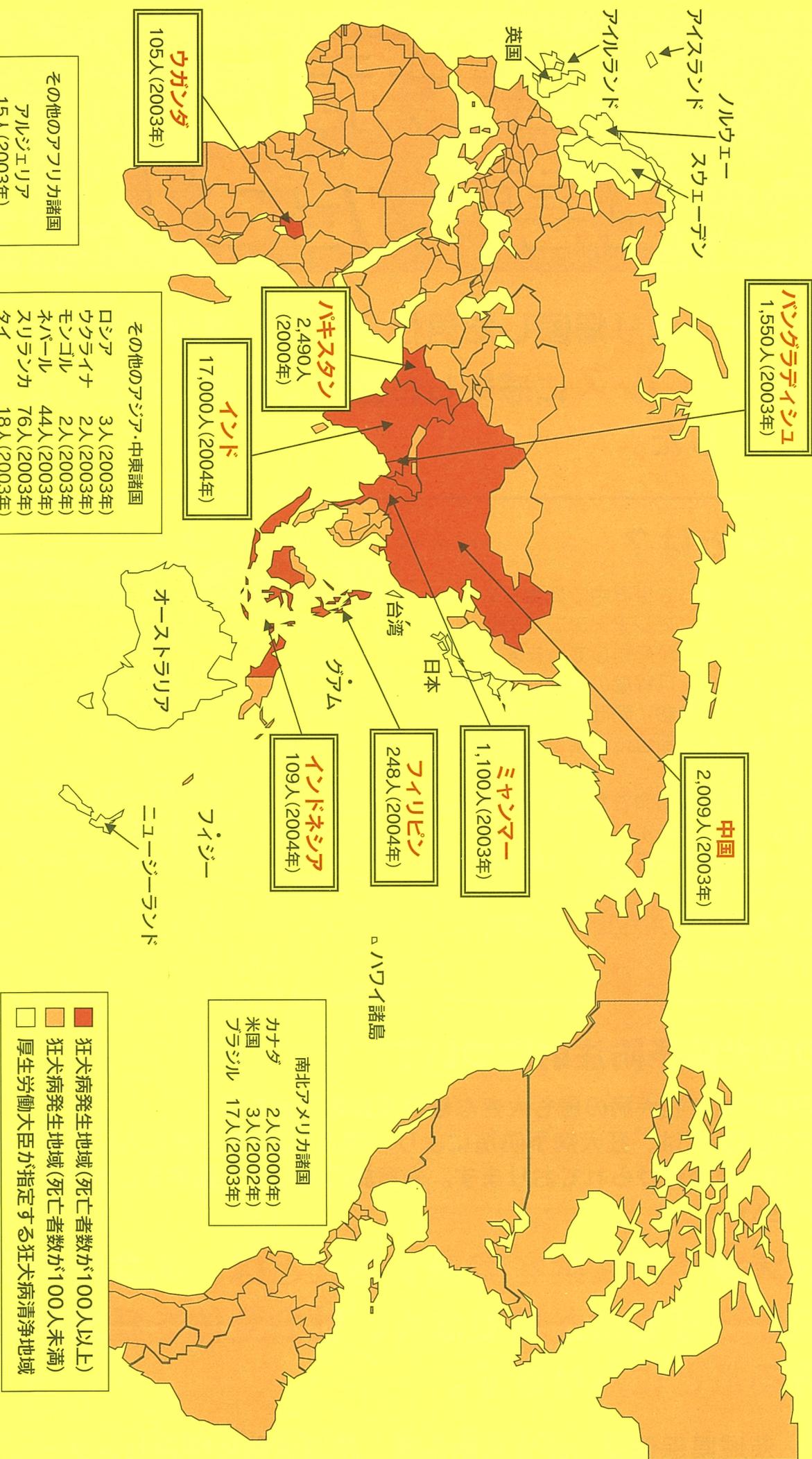
世界的に見て狂犬病の最も大きな感染源動物は犬です。

犬の飼い主には、狂犬病予防法により、生後90日を過ぎた犬に対して**年1回の予防注射**が義務付けられております。未実施の犬には、速やかに予防注射を実施してください。

犬に狂犬病予防注射を実施することは、あなたの愛犬を狂犬病から守るばかりでなく、社会全体を狂犬病の恐怖から守ることになります。

狂犬病の発生状況

(死亡者数はWHOへの報告からの抜粋)



■ 狂犬病発生地域 (死亡者数が100人以上)
■ 狂犬病発生地域 (死亡者数が100人未満)
□ 厚生労働大臣が指定する狂犬病清浄地域

(注) 死亡者数はWHOへの報告に基づくものであり、報告のない国については反映されていない。

(厚生労働省ホームページより)